

SDGs 「みなとSDGs パートナー」とは

港湾関連企業等が行う事業活動等の取組とSDGsの関連性について「気づき」を促すとともに、その取組を「見える化」することにより、SDGsの普及促進と取組の更なる推進を図り、ひいては我が国港湾及び港湾関係産業の魅力向上と将来にわたる持続的な発展に資することを目的に国土交通省港湾局が創設した制度です。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000047.html

私たち互興運輸株式会社は、令和4年12月23日に国土交通省港湾局が創設した「みなとSDGs パートナー」に登録し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。重点施策として、残業時間の短縮やコピー・プリント枚数の削減など、働き方や資源の使い方に配慮した活動を推進しています。

また、創業以来、横浜市（現在はこども青少年局）への色鉛筆の寄贈を継続して行っており、地域の子どもの健やかな成長を応援しています。

さらに、横浜市金沢区の金沢物流センターでは、近隣地域の清掃活動に積極的に参加し、区からの要請に応じて緊急資器材の保管も行うなど、地域との連携を大切にしている取り組みを続けています。



3側面 ^①	SDGs 達成に向けた重点的な取組 ^②	2030年に向けた指標 ^③	指標の進捗状況 ^④
<ul style="list-style-type: none"> □環境^⑤ ✓社会^⑥ ✓経済^⑦ 	業務のデジタル化を進め、データを効率的に・共有化していくなど、社内でのDX化の手法を取り入れることで生産性の向上を計り時間外労働を改善します。 ^⑧	時間外労働時間の短縮 ^⑨ 現行：24.17時間/月/人 ^⑩ 目標：22時間/月/人 ^⑪	事務職で減少となったが現業職が増加 ^⑫ 2023年 37名平均22.951 ^⑬ 2024年 34名平均22.600 ^⑭
<ul style="list-style-type: none"> ✓環境^⑮ □社会^⑯ □経済^⑰ 	コピー・プリントの枚数の削減に取り組む ^⑱	目標：コピー用紙20%の削減 ^⑲	運用の見直しや削減意識の向上により月平均2,800枚を削減し、前年比3.627%減 ^⑳ 取組開始時より7.801%減 ^㉑

